

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2000-276999 (P2000-276999A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 6 日 (2000.10.6)
 【出願番号】特願 平 11-77903
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 J 1/304

H 0 1 J 9/02

【F I】

H 0 1 J 1/30 F

H 0 1 J 9/02 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 5 日 (2005.8.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

本発明の電子放出素子の針状体を製造する上記方法において、基板を設置する空間の圧力は大気圧にすることが好ましい。また、原材料として使用する金属化合物は、揮発性の高いものであることが好ましい。

本発明の電子放出素子の針状体をなす金属酸化物としては、例えば、 MgO 、 Al_2O_3 、 In_2O_3 、 SiO_2 、 SnO_2 、 TiO_2 、 ZnO 、チタン酸バリウム、 $SrTiO_3$ 、 $LiNiO_3$ 、 PZT 、 $YBCO$ 、 YSZ 、 YAG 、 $ITO(In_2O_3/SnO_2)$ 等が挙げられる。また、 ZnO 中に Al がドーピングされているようなものであってよい。さらに、 $KTaO_3$ や、 $NbLiO_3$ のような複合酸化物であってもよい。